



IEEE Japan Council 主催
2022 年「IEEE フェローを目指す
すべての方のためのウェビナー」

《第1回》10月31日(月) 15:00~17:00

《第2回》12月22日(木) 17:00~19:00

IEEE Japan Council では、IEEE 会員の中で最高級のグレードであるフェロー称号を、より多くの方に取得していただくことを目指し、無料 Zoom ウェビナーを 10 月 31 日(月) 15:00 ~および 12 月 22 日(木)17:00~に開催いたします。長さは 2 時間程度、以下の内容を予定しています。

- Fellow Committee 審査経験者からのフェロー申請のイロハ・選考の要諦、審査基準紹介
- フェロー昇格者から、フェローを目指したきっかけ、申請体験談、メリット等
- フェロー向けアンケート結果、フェロー統計情報等共有

学生会員・一般会員・シニア会員まで、どの層にもご参考になる情報を提供いたしますので、奮ってご参加ください。既にフェローになられている方についても、Nomination や Reference をされる際に有益な情報が含まれます。開催時間帯のご都合がつかない方のために、登録された方限定でオンデマンド視聴も可能といたしました。

10 月 31 日および 12 月 22 日の両方に、2023 年フェロー最終審査を先日終えたばかりの IEEE Fellow Committee Member 杉山昭彦様(Yahoo! Japan 研究所)にも緊急登壇をいただけることになりました！

プログラム(予定、敬称略)

1. 趣旨説明と講師紹介
5分 高村誠之(NTT/法政大, IEEE Japan Council)
2. フェロー選考の要諦
15分 西原明法(東工大 CAS, SP, E F-03,LF-17)
25分 桑原秀夫(富士通 PHO,COM F-06,LF-14)
3. フェロー昇格者体験談
第1回(10月31日) 第2回(12月22日)
30分 澤田宏(NTT SP F-18) 佐藤拓朗(早大 VT F-13, LF-21)

- 30分 大久保榮(VTV ジャパン CAS, COM F-11, LF-12) 伊東健治(金沢工大 MTT, AP, CAS, SSC F-17)
4. フェロー審査を振り返って
5分 杉山昭彦(Yahoo! Japan 研究所)
5. フェロー向けアンケート結果・統計共有、Q&A
10分 高村誠之

申込等のリンク

登録サイト [第一回ウェビナー登録サイト](#)、[第二回ウェビナー登録サイト](#)

事前質問 [事前質問受付フォーム](#)、過去の Q&A [IEEE フェローに関する Q&A 集](#)

フェロー申請に係る諸情報 [IEEE フェロー制度](#)

講師略歴(敬称略)

西原明法

東京工業大学 名誉教授、超スマート社会卓越教育院 特任教授 統括責任者

1973年東工大・工・電子物理卒，1978年東工大博士修了，工博。1978年より東工大勤務，2016年東工大社会理工学研究科人間行動システム専攻教授として定年し，東工大名誉教授。2016年東工大工系人材養成機構特任教授。2020年より現職。専門は信号処理と教育工学。電子情報通信学会基礎・境界ソサイエティ和文論文誌編集委員長(1998-2000)，IEEE Trans. Circuits and Systems II, Associate Editor(1996-1997)など。電子情報通信学会企画理事(2007-2009)，総務理事(2011-2013)，IEEE Region 10 Treasurer(1999-2000)，IEEE Circuits and Systems Society Board of Governors (2004-2005)、IEEE Board of Directors(2019-2020)を歴任。東工大教育賞(2009)，東工大工学系教育賞(2013)，科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞 理解増進部門(2016)，電子情報通信学会教育優秀賞(2017)等受賞。電子情報通信学会フェロー，IEEE Life Fellow，APSIPA，日本教育工学会会員。

桑原秀夫

1972年東大・工・電子卒，1974年東大修士修了。1984年工博(東大)。1974年より富士通に勤務し、大容量光ファイバ通信システムの研究開発に従事。2004年富士通研究所取締役。2006年富士通研究所フェロー。2017年退職し、富士通名誉フェロー。2005-2012年早大非常勤講師。2007-2012年北京郵電大学客員教授。1990年光産業技術振興協会櫻井健二郎氏記念賞受賞。電子情報通信学会において1998年業績賞、2005-2006年光通信システム研究専門委員会委員長、2005年フェロー。2021年功績賞、2018-2020年副会長、2022年名誉員。IEEEにおいて1979年入会、1993年シニア会

員、2006年フェロー、2014年ライフフェロー。IEEEでは以下の役職を歴任。IEEE Photonics Society President (2012-2013), IEEE Fellow Committee (2013-2015, 2018-2021), IEEE Awards Board Nominations and Appointments Committee (2014-2016), IEEE Honorary Membership Committee (2008-2010), IEEE Edison Medal Committee (2016-2019), IEEE Japan Council Awards Committee Chair (2016-2022)など。

杉山昭彦

Yahoo! JAPAN 研究所 特任研究員

30年以上に及ぶ、コンシューマー及びネットワークシステム製品のための、通信、音声・音響信号処理システムに関する広範な開発経験。市販製品及び国際標準化への採用実績や論文発表・掲載ならびに特許登録に加えて、2年間で300超の新規顧客接点を国際市場で開拓、多くの会社と技術供与のための共同評価を実施したことは、研究開発技術者として特別の経験。ISO/IEC JTC1/SC29/WG11 MPEG Audio 標準化で日本代表、1992年ブラジル会合では臨時議長、続いてITU及び3GPP標準化にも委員として参加。部下やインターン学生を指導、業務内研究だけで5人が国内外の大学から論文博士を取得。複数大学における15年の非常勤講師歴及び80人の国内外からのインターン学生指導実績。論文誌掲載40(筆頭13)、雑誌掲載の招待・概説論文26(筆頭18)、査読付国際学会発表99(筆頭48)、本の分担執筆17章(筆頭15)、日本工業規格原案執筆4、30カ国87都市で招待講演169、各賞受賞20。単独または共同発明者として、日米加豪韓台伯欧州特許共同体で登録特許217、登録商標6。世界最大の技術者集団IEEE及び電子情報通信学会のフェロー会員、2014-2015年にIEEE Signal Processing Societyから、2017-2018年にIEEE Consumer Electronics Societyから、Distinguished Lecturerに任命。2020年IEEE Consumer Electronics Societyから、Renowned Distinguished Speaker (The Rock Star)に認定。2022年から、IEEE/RSE James Clerk Maxwell Medal Committee Member。2018-2021, 2022年に、世界で50人任命されるIEEE Fellow Committee Memberの1人。

澤田 宏

日本電信電話(株) NTT コミュニケーション科学基礎研究所 上席特別研究員

1991年京都大学工学部情報工学科卒。1993年同大学院工学研究科情報工学専攻修士課程了。2001年博士(情報学, 京都大学)。1993年日本電信電話株式会社(NTT)入社。以来、VLSI設計技術、計算機アーキテクチャ、信号処理、機械学習の研究に従事。IEEE Fellow, 信学会フェロー, 日本音響学会会員。

IEEE Circuits and Systems Society Best Paper Award 2001

IEEE Signal Processing Society Best Paper Award 2014

IEEE Signal Processing Society Young Author Best Paper Award 2020
IEEE Signal Processing Society Outstanding Editorial Board Member Award 2021
IEEE Signal Processing Society Distinguished Lecturer 2022-2023
IEEE Transactions on Audio, Speech and Language Processing Associate Editor 2006-2008
IEEE Circuits and Systems Society Blind Signal Processing Technical Committee Member
2006-2008
IEEE Signal Processing Society Audio and Acoustic Signal Processing Technical Committee,
Member 2007-2013, Associate Member 2014-2018
IEEE Signal Processing Society Kansai Chapter Vice Chair 2011-2013
IEEE Kansai Chapter Membership Development Committee Member 2020-
IEEE Signal Processing Society Open Journal of Signal Processing Associate Editor 2019-
2022

大久保 榮

1964年広島大学工学部電気工学科卒，1996年早稲田大学から博士（工学）学位取得。1964～1994年NTT研究所，1994～1998年（株）アスキー，1998～2001年通信・放送機構，1999～2012年早稲田大学，2006～2019年VTVジャパン（株）で，テレビ電話・テレビ会議に関わる研究・開発・教育・国際標準化に従事。国際標準化は，1984年から主にITU-T/CCITTで活動し，映像符号化，オーディオビジュアル通信システムの作業グループでリーダーを務めた。IEEEには1978年に加入し，1997年Senior Member，2011年Fellowに昇格，2012年Life Fellow。

佐藤 拓朗

早稲田大学 理工学術院総合技術研究所 特任研究教授

1973年新潟大学工学部卒業、1993年博士（工学）、1973年沖電気工業株式会社開発本部入社。ミリ派、準ミリ派無線 PCN 伝送装置、自動車電話、携帯端末、セルラーシステム、セルラー高速データ通信、デジタル信号処理方式の研究開発に従事。1985年から1989年、セルラー高速データ通信の国際標準化（ITU）提案と標準化活動。1999年TDMA方式セルラー高速データ通信の米国標準化委員会へ提案と標準化活動、1990年から1995年、パーソナル通信向け米国2GHz帯セルラー広帯域CDMA方式(W-CDMA)を開発し、米国TIA標準化提案と標準化活動、1995年米国TIAにてIS-665標準化採用。1995年新潟工科大学教授、OFDM方式の研究開発に従事、2000年に産学連携にて高速無線LANチップベンダー、キーストリーム社の設立、2001年無線システム設計会社WiViComを設立、2004年早稲田大学大学院国際情報通信研究科教授、2013年早稲田大学基幹理工学部情報通信学

科教授、次世代移動通信方式の研究、次世代ネットワークの研究、国際標準などの研究に従事。著書「CDMA方式の基礎から応用」、「OFDM方式の基礎から応用」「移動通信のキーテクノロジー」「Smart Grid Standards」など。2018年大隈記念学術褒賞受賞、日本シミュレーション学会フェロー、ASIASIMフェロー、電子情報通信学会ライフフェロー、IEEEライフフェロー。

伊東健治

金沢工業大学 工学部 電気電子工学科 教授

1983年同志社大・工・電子工学卒，1997年 東北大学工学研究科・電子工学専攻・後期博士課程修了。1983年三菱電機（株）に入社。衛星通信地球局，衛星搭載中継器，レーダ装置などに用いられるマイクロ波・ミリ波送受信機の研究・開発，RF-IC，携帯電話機の開発に従事。同社モバイルターミナル製作所・ハードウェア技術部長を経て，2009年金沢工大教授。マイクロ波・ミリ波半導体回路，無線電力伝送用レクテナの研究に従事。2000年，2005年 関東地方発明表彰発明奨励賞，2006年 近畿地方発明表彰発明奨励賞，2002年 第50回オーム技術賞など受賞。2002年～2018年 IEEE MTT-S International Microwave Symposium の Technical program review committee member，2004年～2008年 IEEE Trans. MTT の Associate Editor，2006年～2008年，2010年，2012年～2014年 IEEE MTT-S elected ADCOM member。2014年 IEEE MTT-S N. Walter Cox Award，2016年～2017年 IEEE MTT-S Nagoya chapter chair，2017年 IEEE Fellow。2018年 MTT-S Fellow Evaluating Committee member，2008年～2010年 URSI-C 委員長。2014年 Thailand Japan Micro Wave 2014 General chair。著書「モバイル通信の無線回路技術」（電子情報通信学会，共著），「マイクロ波伝送・回路デバイスの基礎」，「無線通信の基礎技術」（共にオーム社，共著），「空間伝送型ワイヤレス給電技術の最前線」（CMC出版，共著）「環境発電ハンドブック 第2版」（S&T出版，共著）。博士（工学）

問い合わせ先：高村誠之(IEEE Japan Council, Long Range Strategy Committee Chair)

jc-lrsc-fellow@ieee-jp.org

以上